

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 永犬丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

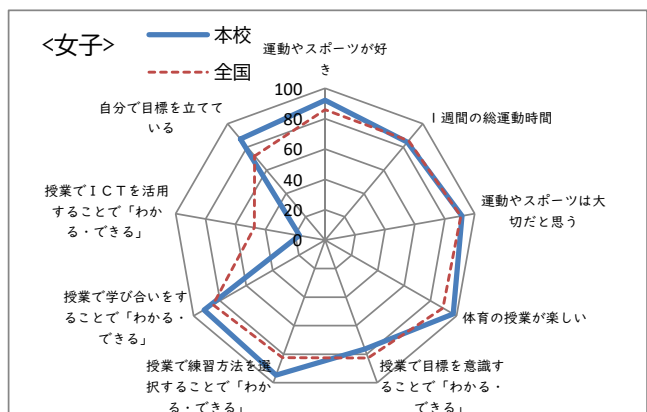
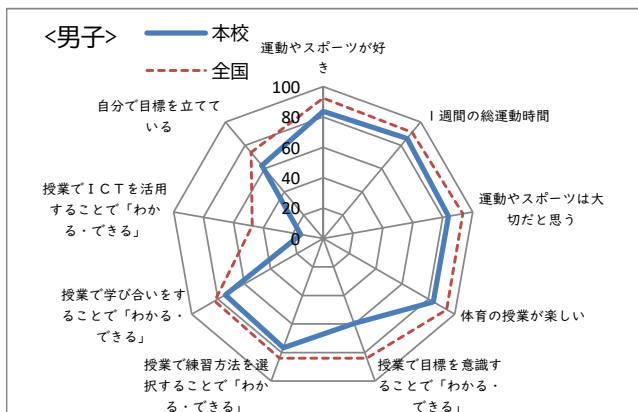
| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.21 | 18.86 | 33.79 | 40.36 | 45.92 | 9.53 | 150.83 | 20.31 | 52.28 |
| 本市 | 16.29 | 18.72 | 34.05 | 39.47 | 46.86 | 9.51 | 151.13 | 21.34 | 52.55 |
| 本校全国平均以上の種目 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | |

<女子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.10 | 17.97 | 38.18 | 38.66 | 36.97 | 9.70 | 144.55 | 13.17 | 54.31 |
| 本市 | 16.24 | 17.46 | 38.12 | 37.90 | 38.13 | 9.69 | 144.81 | 13.31 | 54.12 |
| 本校全国平均以上の種目 | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女ともに8割以上の児童が運動やスポーツを好きだと感じているが、男子は1週間の総運動時間が全国平均を下回っている。女子は自分で目標を立てる意識が高いので男子の意識も高めていきたい。また、授業でのICTの活用に課題が残っている。体育科の学習においても、ICTを活用し「わかる・できる」活動の充実を目指していくことが本校には必要である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

「永っ子ぐんぐんチャレンジ」と称して、2学期に全校で【立ち幅跳び】に視点を当てて挑戦した。体育の時間の5分程度、また運動委員会の活動として休み時間に、立ち幅跳びを向上させる運動を取り入れた。ほとんどの学年で記録が伸び、子どもたちの意欲と体力の向上につながった。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

休み時間には、職員数名が運動場に出て、学年関係なく子どもたちと遊ぶことで、外遊びを促すようにした。運動委員会の子どもたちが、外遊びを促し、安全な運動場への移動の声かけも行った。